

# KOTELLO

## しんぶん

連載  
あなたの、働き方、のぞき見  
KOTELLOってどんなところ？  
KOTELLO本日より  
KOTELLOトピック



渡邊 淳

代表取締役  
MIPOX株式会社

上谷 宗久

取締役  
MIPOX株式会社

中川 健二

取締役  
MIPOX株式会社

### 特集記事

## KOTELLO

### 立山縦走登山研修を終えて。



MIPOX株式会社さんは令和4年の12月に役員全員でオフサイトミーティングをKOTELLOで行っていただきました。その際、当社代表の福岡の講演を聞いてくださり、令和5年7月にそのメンバーで立山縦走登山の研修を受講してくださいました。その時のこと、その後のこと、を代表の渡邊さんと取締役の上谷さん、中川さんの三人にお聞きしました。

— 研修の受講ありがとうございました。

渡邊さん（以下渡）… KOTELLOの登山研修って僕らが初めてで、細かい計画も見せてもらえなかったんです。福岡さんはずっと「登れば分かります」って言っていたけれど、「本当かよ？」と思ってました。でも一泊二日で山登って、降りて、振り返りをした時に、「本当だった、やって良かった！」と思いましたね。

— 他の研修と比べて、どう良かったですか？

渡… 今までのものは、予定や計画があるものばかり。だけど今回の山登りは全然違って、準備が足りない状態で行って、その場で色んな対応をしていく。すごく経営に似ているなと思います。経営も予期せぬことが毎日おこりますから。その都度、考えて行動していくことの大切さを改めて感じました。あとはやっぱり、場の力を感じました。あれ以来、立山のことばかり調べてます。

— 山を登り始めたとき、遠くに頂上が見えて、「本当にあんなところまで行けるの？」ってみんな言っていましたよね？

渡… もう絶望だったよね。帰りたくなかった（笑）けど、一歩一歩前に進むことで頂上に到達した。この達成感と頂上に辿り着いたという事実はすごい。会社と一緒に、売上目標が300億円とか500億円とか言っているけど、社員には見えない頂上なんだと思います。

— KOTELLOに初めて来ようと思われたきっかけはなんだったんですか？

渡… 福岡さんやフクールが、武者修行をやっているのをずっと何年も遠くから見ている、ある時に、社内でもオフサイトのミーティングとかをやるうと思ったのがきっかけですね。

— 実際本当に来てもらえるのは嬉しいです。

渡… 僕、社交辞令が嫌いで（笑）行きたくないものに行きたいとか言わない。行きたくない人には絶対に「今度、飲みに行きましょう！」とか言わないので。しかも、「行きたいなあ！」じゃなくて、「行く！」としか言わない。だから、立山も行きたいと思ったから行くって決めたんですよ。

— 周りは大変じゃないですか？

上谷さん（以下上）… 大変というか… そういう人が集まっている（笑）引き寄せられている感じがすかね。

渡… そう。うちの会社はそんな感じ。

— 会社の中で実際に山登りの話は出たりしますか？

上… ありますよ。やっぱりあんな体験ってないですもん。アメリカ行くとかブラジル行くってことよりもタフですもん。

中川さん（以下中）… 出来事は未来によって意味づけられる、って考え方があって、あの時、KOTELLOに行ったり、きつい立山登山をやっている時は「なんでこんなことやっているんだ」って思っていたんだけど、その後、意味付けが出来てきたんです。

渡… その時の経験も大事なんだけど、その後どうするか、どんな未来を描くかが大事なんですよ。未来を描いて、なりたいたい自分に近づこうとすれば、今起きていることや過去に起きたことの意味が変わってきて、結局、今と未来が大事なんですよ。

# アナタの、働き方、のぞき見。

このコーナーでは、KOTELLOスタッフが気になる企業様を訪ねて、社長やスタッフさんの仕事への想いや働き方についてインタビューします。今回は、少人数のトレッキングツアーをメインに星空キャンプツアーや氷河ツアーなどいろいろな視点から立山を案内する山岳ガイドの大塚憲一さんの職場を見学！

（公社日本山岳ガイド協会認定登山ガイド（立山ガイド協会所属）株式会社 Travelath

## 大塚 憲一 さん



をいっぱい詰めてもらい、そのいっぱいの雪が溶けるとどうなるかを感じてもらおう。雪の堆積は、溶けると半分くらいになるんですね。だから20mの雪の壁だったら10mの量になる。立山を表面的な魅力ではなく、深い本質的な魅力を感じてもらいたいと考えています。

「立山でどう過ごしたいですか？」というお客様の気持ちに寄り添い、コースなどを選んであげるガイドになろうと思うって立山ガイドになりました。だから、意外と普通の登山道具が多いんですね。大塚：そうですね。最初は「誰でも歩いて行ける場所に誰かがガイドをつけてまで行くの？」って言われていました。でも自分の感動体験から、こういう事が大事になると確信があった。他のガイドの人たちと違っていても、それを貫いていますね。

大塚：そうですね。最初は「誰でも歩いて行ける場所に誰かがガイドをつけてまで行くの？」って言われていました。でも自分の感動体験から、こういう事が大事になると確信があった。他のガイドの人たちと違っていても、それを貫いていますね。

### なぜ立山ガイドに？

大塚：東京生まれの東京育ちで、山には縁もゆかりもなかったのですが、富山大学理学部地球科学科で雪氷学を専攻し、そこで立山の雪の研究をするためのフィールドワークとして立山に登りました。その時に圧倒的な立山の存在に感動したのが原点ですね。

大塚：そうですね。ちょうど、屋久島や富士山が世界遺産になって、山を好きになった人が増えた時期だったと思うんです。そういった人たちが、険しい山に困難を乗り越えて登るような厳しい登山体験を期待するということよりは、美しさや壮麗さを感じたり、非日常を味わったり



大塚：そうですね。ちょうど、屋久島や富士山が世界遺産になって、山を好きになった人が増えた時期だったと思うんです。そういった人たちが、険しい山に困難を乗り越えて登るような厳しい登山体験を期待するということよりは、美しさや壮麗さを感じたり、非日常を味わったり

「最近、頭で分かった気になっている人が多いじゃないですか。だから、この研修の様に、身体で感じる、身体で理解するっていうのが大事だと思ってるんです。」

中：今、僕らの仲間で、そういうタイプの人がいるんです。すぐに「それって、そういうことでしょ」って言っちゃう。実は自分たちもそうだったんです。頭で考えて、正論振りかざして、それを社員にぶつけてました。そしたら、社員のメンタルが壊れちゃったんです。その経験があつて、本当に申し訳ないことをした。そういう十字架を僕らは背負っているんです。人は皆んな心を持っていて、そこに心を寄せて行かなければいけないんです。

中：今、僕らの仲間で、そういうタイプの人がいるんです。すぐに「それって、そういうことでしょ」って言っちゃう。実は自分たちもそうだったんです。頭で考えて、正論振りかざして、それを社員にぶつけてました。そしたら、社員のメンタルが壊れちゃったんです。その経験があつて、本当に申し訳ないことをした。そういう十字架を僕らは背負っているんです。人は皆んな心を持っていて、そこに心を寄せて行かなければいけないんです。

中：今、僕らの仲間で、そういうタイプの人がいるんです。すぐに「それって、そういうことでしょ」って言っちゃう。実は自分たちもそうだったんです。頭で考えて、正論振りかざして、それを社員にぶつけてました。そしたら、社員のメンタルが壊れちゃったんです。その経験があつて、本当に申し訳ないことをした。そういう十字架を僕らは背負っているんです。人は皆んな心を持っていて、そこに心を寄せて行かなければいけないんです。

中：今、僕らの仲間で、そういうタイプの人がいるんです。すぐに「それって、そういうことでしょ」って言っちゃう。実は自分たちもそうだったんです。頭で考えて、正論振りかざして、それを社員にぶつけてました。そしたら、社員のメンタルが壊れちゃったんです。その経験があつて、本当に申し訳ないことをした。そういう十字架を僕らは背負っているんです。人は皆んな心を持っていて、そこに心を寄せて行かなければいけないんです。

中：今、僕らの仲間で、そういうタイプの人がいるんです。すぐに「それって、そういうことでしょ」って言っちゃう。実は自分たちもそうだったんです。頭で考えて、正論振りかざして、それを社員にぶつけてました。そしたら、社員のメンタルが壊れちゃったんです。その経験があつて、本当に申し訳ないことをした。そういう十字架を僕らは背負っているんです。人は皆んな心を持っていて、そこに心を寄せて行かなければいけないんです。

中：今、僕らの仲間で、そういうタイプの人がいるんです。すぐに「それって、そういうことでしょ」って言っちゃう。実は自分たちもそうだったんです。頭で考えて、正論振りかざして、それを社員にぶつけてました。そしたら、社員のメンタルが壊れちゃったんです。その経験があつて、本当に申し訳ないことをした。そういう十字架を僕らは背負っているんです。人は皆んな心を持っていて、そこに心を寄せて行かなければいけないんです。

中：今、僕らの仲間で、そういうタイプの人がいるんです。すぐに「それって、そういうことでしょ」って言っちゃう。実は自分たちもそうだったんです。頭で考えて、正論振りかざして、それを社員にぶつけてました。そしたら、社員のメンタルが壊れちゃったんです。その経験があつて、本当に申し訳ないことをした。そういう十字架を僕らは背負っているんです。人は皆んな心を持っていて、そこに心を寄せて行かなければいけないんです。

中：今、僕らの仲間で、そういうタイプの人がいるんです。すぐに「それって、そういうことでしょ」って言っちゃう。実は自分たちもそうだったんです。頭で考えて、正論振りかざして、それを社員にぶつけてました。そしたら、社員のメンタルが壊れちゃったんです。その経験があつて、本当に申し訳ないことをした。そういう十字架を僕らは背負っているんです。人は皆んな心を持っていて、そこに心を寄せて行かなければいけないんです。

「確かに！」「なんの為に登るんですか？」って聞かれることが多くて。けど、私は「知らない」って答えています。最近、理由がないと動けない人って多いような気がするんですね。

中：こういう研修の場合、人事部門の人に提案すると、すぐ費用対効果って言うんですね。

中：今、僕らの仲間で、そういうタイプの人がいるんです。すぐに「それって、そういうことでしょ」って言っちゃう。実は自分たちもそうだったんです。頭で考えて、正論振りかざして、それを社員にぶつけてました。そしたら、社員のメンタルが壊れちゃったんです。その経験があつて、本当に申し訳ないことをした。そういう十字架を僕らは背負っているんです。人は皆んな心を持っていて、そこに心を寄せて行かなければいけないんです。

中：今、僕らの仲間で、そういうタイプの人がいるんです。すぐに「それって、そういうことでしょ」って言っちゃう。実は自分たちもそうだったんです。頭で考えて、正論振りかざして、それを社員にぶつけてました。そしたら、社員のメンタルが壊れちゃったんです。その経験があつて、本当に申し訳ないことをした。そういう十字架を僕らは背負っているんです。人は皆んな心を持っていて、そこに心を寄せて行かなければいけないんです。

中：今、僕らの仲間で、そういうタイプの人がいるんです。すぐに「それって、そういうことでしょ」って言っちゃう。実は自分たちもそうだったんです。頭で考えて、正論振りかざして、それを社員にぶつけてました。そしたら、社員のメンタルが壊れちゃったんです。その経験があつて、本当に申し訳ないことをした。そういう十字架を僕らは背負っているんです。人は皆んな心を持っていて、そこに心を寄せて行かなければいけないんです。

中：今、僕らの仲間で、そういうタイプの人がいるんです。すぐに「それって、そういうことでしょ」って言っちゃう。実は自分たちもそうだったんです。頭で考えて、正論振りかざして、それを社員にぶつけてました。そしたら、社員のメンタルが壊れちゃったんです。その経験があつて、本当に申し訳ないことをした。そういう十字架を僕らは背負っているんです。人は皆んな心を持っていて、そこに心を寄せて行かなければいけないんです。

中：今、僕らの仲間で、そういうタイプの人がいるんです。すぐに「それって、そういうことでしょ」って言っちゃう。実は自分たちもそうだったんです。頭で考えて、正論振りかざして、それを社員にぶつけてました。そしたら、社員のメンタルが壊れちゃったんです。その経験があつて、本当に申し訳ないことをした。そういう十字架を僕らは背負っているんです。人は皆んな心を持っていて、そこに心を寄せて行かなければいけないんです。

中：今、僕らの仲間で、そういうタイプの人がいるんです。すぐに「それって、そういうことでしょ」って言っちゃう。実は自分たちもそうだったんです。頭で考えて、正論振りかざして、それを社員にぶつけてました。そしたら、社員のメンタルが壊れちゃったんです。その経験があつて、本当に申し訳ないことをした。そういう十字架を僕らは背負っているんです。人は皆んな心を持っていて、そこに心を寄せて行かなければいけないんです。

中：今、僕らの仲間で、そういうタイプの人がいるんです。すぐに「それって、そういうことでしょ」って言っちゃう。実は自分たちもそうだったんです。頭で考えて、正論振りかざして、それを社員にぶつけてました。そしたら、社員のメンタルが壊れちゃったんです。その経験があつて、本当に申し訳ないことをした。そういう十字架を僕らは背負っているんです。人は皆んな心を持っていて、そこに心を寄せて行かなければいけないんです。

# KOTELLOってどんなところ？

関係の深い方々にインタビューしてみました！

## LOCAL VOICE

## VISITOR VOICE



ともえさん

芦峯寺に移住してきたママさん。  
地元の定食屋「武平」で働きながら、時々KOTELLOでもバイトしている。



TSK株式会社  
金川楓さん

### 「みんなが集まる楽しい場所」

#### Q. KOTELLOとの関係性は？

KOTELLOでは、イベントの時に手伝いすることが多いので、イベントに来られる方にとっては「KOTELLOの人」。武平からしたら、KOTELLOはお弁当を頼んでくれるお客さんでもある。そして、近所に住む母でもあるので、KOTELLOは子供の遊び場でもある。色んな見方があると思います。「KOTELLOの人」でもあり「武平の人」でもあり「地元の人」でもあり「母」でもあり：一言で関係性を表すのは難しいですね(笑)

#### Q. KOTELLOってどんな場所ですか？

本当に不思議な場所。縁や繋がりを強く感じる場所ですね。子供の親世代の方たちにとって、今のKOTELLOは母校だったりもして、懐かしい場所だと思えますが、私にとってここは母校でもなんでもない、移住した人だけ、一緒に準備したり、イベントを手伝ったりの場所。ホームミタいに感じています。KOTELLOの一員になれたおかげで、この地域に馴染みやすかったし、子供たちにとっても居心地が良かったかなと。本当は馴染みのない場所、よそ者な感じですが、いさなり真ん中でイエイミたいな(笑)

#### Q. KOTELLOに期待したいことは？

地元を巻き込んだ形のイベントをどんどんやってほしいと思います。毎年恒例のクリスマス会とかは子供にも定着してきて、次いつあるの？と言われるまでになつていて、みんなで楽しんでるので。武平からしたら、またお弁当頼んでください(笑)

### 「素に戻れる場所」

#### Q. KOTELLOの第一印象を教えてください

「なつかしい」ですね。小学校のレイアウトに懐かしさを感じながらも、同時にオシャレだなあと感じました。自然と地元の給食の話になったりして、小学校ってやっぱり大事ななあと思います。

#### Q. 実際、KOTELLOに来てみてどうですか？

昨年、白駒さんのセミナーやフェアのトークショーに参加させていただきました。普通の会議室でやるような研修だと、頭の中は「仕事で行っている感覚」「仕事でどう生かすか」ということばかりになるけど、KOTELLOでの研修や学習会は「素直に学びたい」「素直に自分の言葉で話したい」という風に思えます。あまり格好つけなくても良い、そのままの自分でいられる部分がよく良いなと思います。ワクワクといった純粋な好奇心が満たされるような気がします。素の自分で「学びたい」と思ったことってすごく吸収できるので、KOTELLOはそういう意味ではすごくいい場所だと思います。

#### Q. 今後どのように活用してみたいですか？

個人的には、夏祭りでお化け屋敷とかしてみたいです(笑)あとは「地域のご老人の方と繋がる会」とか。今、若者とシニア世代を繋ぐコミュニティをつくるプロジェクトを学生が運営していて、そういうものをKOTELLOで展開したりしてみたいです。地域のおじいちゃんおばあちゃんと一緒に料理をつくって、若い人に振舞ったり、ここをきっかけに、年齢の差を感じる若者を減らせたらいいなと思います。他にも、建築系の学科の学生さんと一緒にイベントを企画するインターンとかもやってみたい！

# KOTELLOの研修、フクール社員でやってみた！

KOTELLOには、人財育成に役立つ研修プランがあります。そのひとつである「おとなの野外学習」をフクール社員で体験してみました。

### 「おとなの野外学習」とは？

個人とチームの課題を解決する体験型研修。一見不可能と思われる課題への挑戦を通じて、チームワークや問題解決力を養う研修です。身体や知能を使った実践的活動を通して、自身のコミュニケーションの長所や短所を発見することが出来ます。また、小集団で課題をクリアする中で、チームの成熟や自身のリーダーシップを育みます。アクティビティの一つひとつは、難易度が分かれており、その場が集まったメンバーの様子を見ながら臨機応変に対応いたします。



### 受講した社員の声

山本：チームとしての大切なポイントも感じる事ができました。最後に振り返った時に素の部分で自分を評価する事ができました。

金尾：自分がチームの力を最大限発揮するために何が出来るか、どのように声をかけるか次第だと思いました。小さなひとつの行動や声掛けがチームを大きく動かせるのだと思います。

前田：チームとグループの違いは共通の目的、目標を持っていくかどうかと言われますが、研修のテーマはグループではクリアが難しいものでした。時間に追われる毎日の仕事の中では簡単には示唆できないことを気付かされました。

新鞍（講師役で参加）：普段会社で見ている姿と、研修でアクティビティに取り組んでいる姿が、まるで別人のように違う方がいたことが本当に衝撃でした。長い関係性の中で築かれてしまった「思い込み」や「当たり前」が破壊され、互いの向き合い方・関わり方を考え直すきっかけになると思います。

おとなの野外学習  
1日研修・1泊2日研修  
基本スケジュール





立山町芦峯寺の  
伝統儀式

ぬのばしかんじょうえ  
**布橋灌頂会を開催しました**

6年ぶりに観客を入れて通常の規模で行われ  
KOTELOスタッフも女人衆として参加しました。

**布橋灌頂会とは?**

江戸時代に信仰の山「立山」への登拝が許されなかった女性達が極楽往生を願い、白装束姿で白い布が敷かれた橋を渡る儀式。近年は3年ごとに行われていたが、コロナの影響でその開催が見送られており、昨年は久しぶりの開催となった。全国から集まった応募から、抽選により選ばれた60名の女性が参加した。



**1. 心のおめかし**

白装束に着替え、「閻魔堂」と呼ばれるお堂で秘儀が行われます。大きな閻魔さまを前に、懺悔し誓いを立てます。僧侶がお経を唱え心身ともに清められます。



**2. 現世からあの世へ**

目隠しをしてかさを被り、極楽浄土への道を表す白い布が敷かれた「布橋」を渡ります。邪念があるものは橋が細く見え川に棲む大蛇に巻かれて死んでしまうという言い伝えもあります。



雅楽の音色と川や鳥などの自然の音が、研ぎ澄まされた耳に広がり、美しく荘厳な雰囲気に入れ、現世から離れていくような感覚を体験できました!

**3. 極楽浄土へ**

橋を渡り終えると、かつての「姥堂」の地に建てられた「遙望館」へと入ります。暗闇の中で念仏を唱えると、やがて戸が開け放たれ、正面には美しい立山が姿を表します。立山から汲まれた「玉殿の湧水」を頭に注がれ、阿弥陀如来とお繋ぎいただきます。



美しい立山に感動しました。多くの方の瞳には涙が...

**4. 新しい自分へ**

「遙望館」での秘儀を終え、再び橋を渡り現世と戻っていきます。擬死再生を経て、新しい自分へと生まれ変わります。



前向きな気持ちになることができました。

**芦峯小学校150周年**

1873年(明治6年)につくられたこの立山芦峯小学校(現KOTELO)が、2023年で150周年を迎えました。今でもなお地元の方に愛され続けている場所で、クリスマス会では、ささやかながら記念品や黒板アートでお祝いしました!たくさんの思い出がたくさん詰まった小学校をKOTELOとして大切に守っていきたいと思います。



連載 **KOTELO本だより**



今回の紹介者 **KOTELO**

おすすめの一冊

**「Humankind~希望の歴史~上・下」**

著者:ルトガーブレグマン 出版社:文藝春秋

性善説という単純な話ではなく、歴史、精神医学、心理学、そして資本主義や戦争などから考察し、著者が辿り着いた「人間は本質的に善だ」という考え。現代社会では、人間は悪いことをする生き物だという考え方が前提になって出来ているものが多いかもしれない。確かに犯罪もあるし、墮落もある。怠けたい時もあるし、ずるい時もある。これが人間。だけど、本質的には善だと言うことを前提に世の中を見ていることに意味があると思う。『人間は善き自分で居たいと思っている』というフィルターを通して、自分以外の他者と関わって生きていだけで、世界は変わると思う。少なくとも、その考え方を選んだ人の人生は変わると思う。未来に希望を持ちたい方におすすめの本。



**SCHEDULE**

**KOTELO春の特別授業**

~白駒妃登美さんによる歴史の時間~

開催日時 **4月5日(金) 10:00~17:00**

多くの著書が出版されている博多の歴史、白駒妃登美さんをお呼びして、日本の歴史を紐解きながら、日本人の生き方や心を学びたいと思います。KOTELOにちなんで、「Re:ハタラク」をテーマにしたお話や、マナー講習を実践できるお時間もご用意しております。



**4月中旬頃 お花見**

もともと小学校だったKOTELOには大きな桜の木があります。かつては学生さんたちがこの木の下で「青空ランチ」をしていたんだとか。街中より少し遅めの見ごろを迎えるKOTELOのお花見、是非お越しください。



**1階をリニューアルしました!**

KOTELOの1階が無料でご利用いただけるようになりました。古本やグッズ、コーヒーの販売もあるのでぜひお立ち寄りください!館内サインも新しくなり、以前よりわかりやすくなっております!

**ARCHIVES**



**2023年12月15日(日)  
令和の武者修行**

【主催】百年示道塾とやま  
全国から集まった19名の中学生と4月に社会人となったばかりの新入社員12名が、力を合わせて乗り越える立山連峰縦走の旅、令和の武者修行。今年もそのベースとしてKOTELOを使っていただきました。



**2023年12月15日(日)  
しあわせ。富山**

【主催】富山県  
富山県成長戦略カンファレンス「しあわせ。富山」をKOTELOにて開催していただきました。「地方から新しいモデルを作る。」をテーマに、様々なトークセッションが用意され、3日間で約200名の方がお越しくださいました。



**2023年12月15日(日)  
KOTELO de marché**

【主催】地元の方  
KOTELOにて大人も子どもも楽しめるイベントを開催していただきました。美味しいご飯や可愛い雑貨屋さんワークショップなどを楽しみました。



**2023年12月15日(日)  
就活塾**

【主催】百年示道塾とやま  
就活や学生向けのイベントの会場としてKOTELOを使っていただきました。バーベキューや焚き火を囲みながら、学生と社長や採用担当者、若手社員が交流しました。



**2023年12月15日(日)  
KOTELOのクリスマス会**

【主催】KOTELO  
毎年恒例の行事。たくさんの方にご来場いただきました。美味しい食事やビール、楽しいワークショップや音楽など、今年も賑やかなクリスマス会となりました。



**2023年12月15日(日)  
キャンドルナイト**

【主催】KOTELO  
東日本大地震を忘れないために、キャンドルをKOTELOのグラウンドに灯すイベントを開催しました。寄付金と皆様の想いを、被災地の方にお届けいたします。

イベントの詳細情報は  
ホームページにて  
随時更新しています  
[www.sanagi.net](http://www.sanagi.net)

